

## 審査の手順



### 提案発表

各団体  
たまご部門：3分  
はばたき部門：5分

### 質疑応答



各団体  
はばたき部門：10分  
審査員による質疑に答えます

### 第一次審査



4つの活動に対し助成を決定する審査結果が出ました！

### 準備助成審査



2団体が来年度につなげるための助成を申し出ました

### 助成金額審査



## 審査結果

たまご部門	審査結果				はばたき部門	審査結果				
	提案者名	助成決定	申請額(円)	決定額(円)		提案者名	得点	助成決定	申請額(円)	決定額(円)
1-1	自然環境ねりまくらぶ	★	5万	5万	2-1	環境まちづくりNPOエコマッセ 練馬運営委員会	●●●●●	★	20万	15.5万
1-2	東京練馬安心アカデミー ガーディアンズ	★	5万	5万	2-2	女劇TOKYO23KU	●●●●	準備活動助成(辞退)	20万	0
1-3	光が丘まちづくりフォーラム	★	5万	5万	2-3	石神井まち協クラブ	●●●●●	★	20万	18.5万
1-4	まっぴす (練馬区南西地域まちづくりグループ)	★	5万	5万	2-4	ねりま・ごみフォーラム	●●●	準備活動助成	20万	6万
1-5	散歩の道しるべマップづくり コムラット	★	3.5万	3.5万	2-5	東京建築士会練馬支部 景観部会	●●●●	準備活動助成	20万	6万
					2-6	石神井川探検隊 (川と水辺を楽しむプロジェクト)	●●●●●●	★	20万	15.5万
					2-7	白子川源流・水辺の会	●●●●●●	★	15万	15万

## 採点方法 はばたき部門

審査員の点数を集計し、会場の審査パネルに掲示します。その結果、5人以上の審査員が「助成可」と判断した企画提案が助成対象となります。

## 準備活動助成とは・・・

助成対象とならなかった団体のうち、1人以上の得票のあった提案団体を対象（希望団体のみ）として、次年度以降にチャレンジするためのアドバイスを行うことを目的とした質疑応答を行います。その後審査員からのアドバイスを受けることを前提として、準備活動助成の決定を受けることができます。

## 準備活動助成へのコメント

### ねりま・ごみフォーラム

活動の基礎となる堆肥の実験用地をどうやって安定的に確保していくかがポイント。農家や地域の子供達との交流にも取り組んでいけたら、よりまちづくり的になるのでは。熱意があり、ごみ問題に取り組んでいる姿勢は評価できます。今後も継続的な活動に期待する。

### 東京建築士会練馬支部景観部会

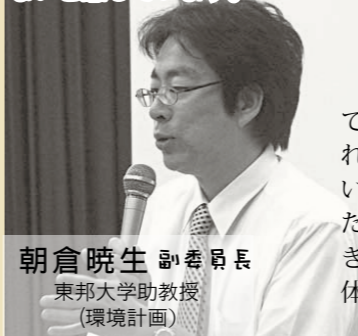
提案内容はしっかりしており、専門家集団としてレベルの高い提案を地域に出せる可能性はあるが、住民や地域との連携に対してより踏み込んだ内容にする必要がある。専門家の視点が強くなりすぎて一般の区民との間に距離ができないようにする必要がある。しかしながら、今後も多方面との連携により大きな活動になることを期待する

### <審査のポイント>

- 地域の特性を踏まえ活かした提案
- 地域の多種多様な人たちが出会い、人々との豊かな関係が構築され、継続的なまちづくりに発展することが期待される提案
- 市民らしい新しい発想のある提案であること
- 実施体制、予算の積算根拠、事業規模などの観点で実現性が高い提案

## 審査員のコメント

助成を受けた団体も、そうでない団体も質の高い活動が多く、どれも大きな差はありませんでした。まちづくり活動助成事業自体が今回初めての試みということもあり、審査システムや助成方法など多くの点でこれから整備を要する点が多いと思います。そういう意味でも、市民も主催者側も協力してこの事業をもっともっと成熟させていかなくてはならないと感じています。



朝倉暁生 副委員長  
東邦大学助教授  
(環境計画)

助成を受けることはゴールではなく、スタートです。助成を受けることによって、区民への報告などの責任も負うようになるので、活動の質の向上を求められることになります。そのためにも、各団体が自己評価の枠組みを明確にしていくことが求められます。情報誌の発行や学習会の実施なども、とにかくやったという段階で満足することなく、各団体の理念に沿った、その団体にしかできないようなものをそれぞれの団体が作っていくことで、練馬のまちづくり全体の質が向上すると思います。

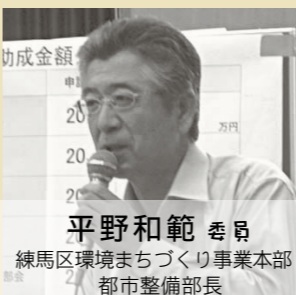
どの活動も素晴らしい内容でした。内容自体も大切ですが、会員募集や事務局の充実によって組織体制を確立し、活動基盤を充実させることも重要である。限られた助成金によってどれだけの効果を出すことができるか、報告会を楽しみにしています。この事業を機にまちづくり活動の輪が広がってほしいと思います。



関口陽一 委員  
練馬区都市計画  
審議会公募委員

身近で生活に密着した重要なテーマに対する取り組みが多かったと思います。審査では活動内容の実現性、住民との連携を重視しました。まちづくりは1回限りのイベントで終わってしまっは意味がないので、費用面も含めて継続していくための計画を立てて活動してほしいと思います。

とても魅力的な企画が多かったです。まちづくりは継続が重要、という点でマラソンのようなもので、継続すると同時に一緒に走っていく仲間を増やしてほしいと思います。そうやって区民に受け入れられることが、資金の獲得にもつながると思いますので、今後も頑張ってください。

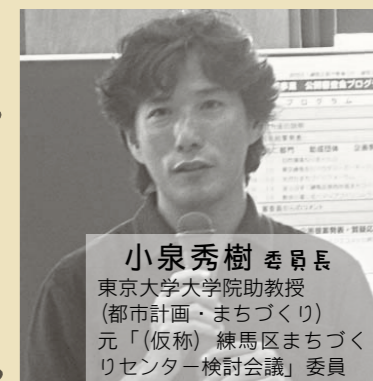


平野和範 委員  
練馬区環境まちづくり事業本部  
都市整備部長

ゴミ問題や放置自転車など、身近な問題から取り組む傾向が見られた点が良かったと思います。助成を受けた団体はむしろこれからの取り組みが重要だと思います。自分たちの活動が「練馬区」におけるまちづくりにどう貢献しているのかを考えてながら活動してください。また直接的にまちづくりに関係のない活動でも、いかに周辺住民を巻き込み、それを地域の活性化に結び付けていくかが大切だと思っています。

各団体とも今日的なテーマを取り上げていたことは評価できます。そのうえ各々のテーマに対して非常に熱心に取り組んでいるということを感じました。第1回まちづくり活動助成事業ということで、今回の反省すべき所は見直しを行い、次回以降につなげていきたいと思っています。

審査員のみなさん、ありがとうございました！



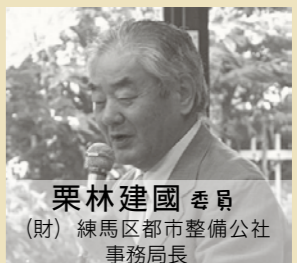
小泉秀樹 委員長  
東京大学大学院助教授  
(都市計画・まちづくり)  
元「(仮称)練馬区まちづくりセンター検討会議」委員



佐谷和江 委員  
技術士(都市および地方計画)、  
NPO法人「まちづくり情報センターかながわ」理事



武田実代子 委員  
元「(仮称)練馬区まちづくりセンター検討会議」公募委員、元練馬区まちづくり条例区民懇談会委員



栗林建國 委員  
(財)練馬区都市整備公社  
事務局長